

真珠の輝き 田崎俊作氏の喜寿を祝う



右上/田崎社長夫妻を囲んで。上中/井戸知事ごあいさつ。左上/栗原小巻朗読。右下/海兵77期コーラス隊。下左/田崎俊明副社長の閉会の言葉。

十一月二十一日の夜。

ホテルオークラ神戸三階有明の間において、田崎真珠株式会社代表取締役社長・田崎俊作氏が、めでたく喜寿を迎えられ、知友相集い祝う会が催され、約一五〇名が集った。

園切れのよい司会は中村友一氏。真珠の輝きにも似た田崎俊作社長ご夫妻の登場に、代表発起人・井戸敏三兵庫県知事が迎えるの言葉は「海兵仕込みの海の男だから、日本の真珠を世界にアピール」と。発起人の矢田立郎神戸市長は「パールシティ神戸を世界的に広め、ファッション都市づくりに貢献」。日本真珠振興会高橋副会長は「商いの真髄を教わったのは田崎社長」と。ケーキカットの後は、海の男らしく元気に田崎社長の御礼の言葉。乾杯は袴田忠夫海上自衛隊第一術科学校校長。海軍兵学校七七期の友人たちのコーラスや、海兵の先輩で(財)日本セーリング連盟名誉会長秋田博正氏や、貝原俊民元兵庫県知事のメッセージ。女優の栗原小巻さんが田崎真珠の歩みを朗読し感動を呼んだ。

七〇本の紅い薔薇に彩られて 大西節子さんの古稀に集う



右上／大西節子さん・節子さんと佐野萬里子さん。右中は上段右から貝原氏、本多店長、下段右から川石社長、中内仁ポートピアホテル社長

乾杯／加藤宮司
右／小久江エグゼクティブシエフ



左／武岡夫妻
下／杉原さん



佐伯紀久子師



上／ジバンシィと節子さんの写真

大丸神戸店で、三十年間ジバンシィサロンを担当された大西節子さんが古稀を迎え、彼女が愛する神戸ポートピアホテルのフレンチレストラン「アラン・シャベル」において、十二月一日、約六〇名が集い優雅なひとときが催された。

銀髪を包んだ、ロングドレスの彼女は可愛く、貝原俊民代表発起人のあいさつに応えた。佐伯紀久子師の御祝儀謡、杉原眞理子さんの日本の歌、武岡徹さんのテノールの歌声が響き、大丸神戸店本多洋治店長は「品格あるサロンでチーフを勤められ、卒業から十年、古稀からは更に若々しく」と。川石灘菊社長は「日本酒党の彼女は、日本酒で美しく」。七〇本の紅い薔薇を会より、林同春さんが進呈。「こんなに素晴らしい会を開いていただいて、本当に嬉しい」と歓迎の節子さん。乾杯の音頭は生田神社の加藤隆久宮司。小久江シエフのメニュー紹介でディナーが始まり、最後は足立輝代さんとフェニックスの歌で、なごやかに開きと終わった。

「ちゅんちゅん・さくらさくら・・・」

小鳥の鳴き声、緑のせせらぎ。
小さな精霊トウインクルは、
人と防災未来センターの、
ひと未来館に来ていました。

ここは、自然や人を通して、

生命の尊さや、すばらしさ体感できる

ところです。六甲山の美しい自然の

中で生まれた、緑の精霊トウイン

クルにとって、美しい大自然を再現

したジオラマや、シアターは、まさ

に癒しの空間であったのです。

「あっ、トウインクル・・・!」

外に出たトウインクルの前には、大きな精霊ビッグがいました。

ビッグは、いつもトウインクルを、こっそりどこかに移動させる、

いたずら好きの精霊です。トウインクルに気づかれてしまったビッグ

は、とても恥ずかそうな様子です。トウインクルは、そんなビッグ

に、満面の笑みで言いました。

「今日はどこかおもしろいと、つれてつてくれんの?」

ビッグは、そんなトウインクルに、少しとまどった様子でしたが、

「う・うん、ええよ!」

と、小さなトウインクルを、手のひらにのせて、歩きはじめたの

でした。

藤原 健二

T&B

トウインクルとビッグ

第十七話

すてきな散歩

ひと未来館～神戸御影公会堂

ビッグがトウインクルをつれてきた場所は、
神戸御影公会堂でした。

ここは、古くから地元の人々に愛され、利用さ
れてきたりっぱな建物です。

「この建物はな、戦争のときも、震災のときも、
びくともせんかってんで〜」

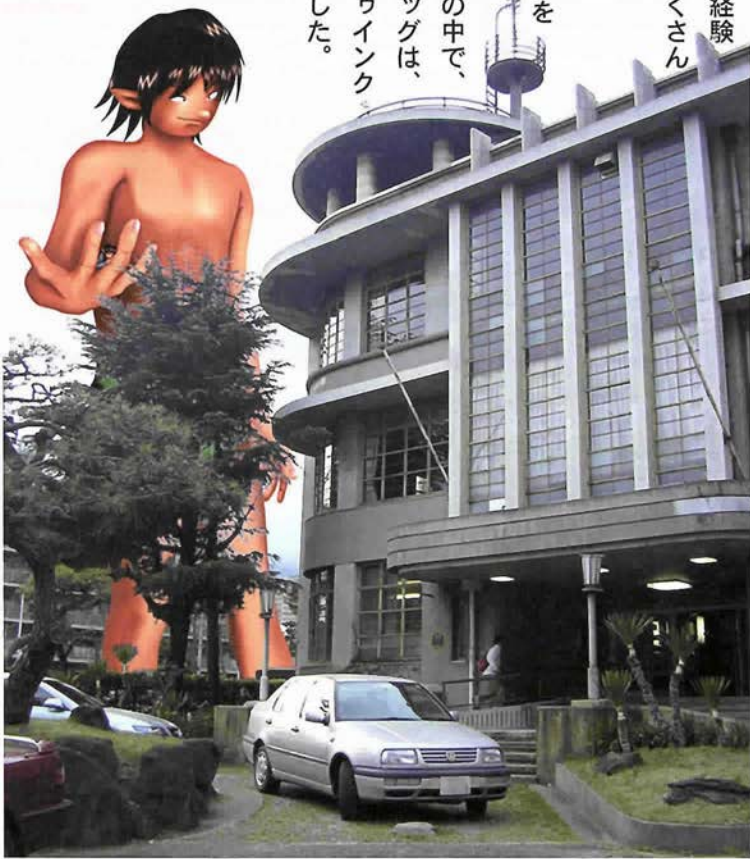
それからビッグは、自分が小さい頃

この場所よく遊んだことや、経験
したことを、トウインクルにたくさん
話していました。

「それからな・・・ん？」

ビッグが、ふとトウインクルを

見ると、トウインクルはいつの
間にかビッグの大きな手のひらの中で、
静かに眠っていたのです。ビッグは、
とても気持ちよさそうに眠るトウインク
ルを見ると、優しく微笑むのです。



神うやかりの
源平浮世絵



馬も四足、一の谷逆落としの奇襲作戦

中右 瑛



歌川広重画 義経一代記之内義経智略一の谷鶴越逆落し

世に伝わ

る一の谷合

戦は、神戸

全域に亘つ

た源平合戦

の総称。戦

域は福原を

中心に、東

は生田の森、

西は一の谷

にまで広が

った。

三草山で

快勝した義

れた石碑がある。

この公園の北の高台には安徳帝内裏跡の史跡がある。西海から九州へ都落ち、それから四国屋島に逃れ、そこも安住の地とならず、流れ流れて、かつて福原の都と呼ばれた別荘も焼け野原と化し、そこにも居られず、幼い安徳天皇と母・建礼門院徳子、祖母で清盛の妻・二位の局ら平家一族が一時しのぎの仮住まいがあった御在所がそれ。

平家軍の西の搦手の砦と呼ばれた一の谷の総大将は清盛の弟・平忠度。忠度は万全の体制で源氏軍の攻撃に備えた。義経がこの西の砦を攻めようと思ったのは御在所の安徳天皇が所持していた三種の神器を奪うのが目的で、後白河法皇の厳命だったのだ。

寿永三（一一八四）年二月七日、鷲尾三郎に道案内された義経一行は、一の谷の裏山に着いたものの、あまりに急な斜面を見て、一同たじろぐ。軍馬も後ずさり。しかし、鹿が通ると聞いて、

「鹿も四足、馬も四足、やれぬことはない」と、
「一の谷逆落とし」といわれる奇襲作戦を敢行した。

平家側では、裏山は屏風を立てたような天然

経一行は、鷲尾三郎の先導で鶴越から鉄拐山・鉢伏山へと急ぐ。この鉄拐山・鉢伏山と一の谷の辺りが世に言う源平合戦の一の谷、鶴越逆落としの舞台になったと言う伝説の地である。

一の谷辺りは摂津と播磨の国境。海岸線に迫って鉄拐山・鉢伏山がある。緑の山と青い海の眺望はすばらしい。現在の海岸線辺りは、春は桜の名所の須磨浦公園となり、美しい松林、白い砂浜とで、「白砂青松」といわれる名勝地。

この美しい砂浜に「源平史跡・戦の浜」と刻ま

攝州の谷鶴越
義経平家攻圖



歌川芳藤画 摂津一の谷鶴越ヨリ義経平家ヲ攻ル園

の要塞で、背後から攻めてこようとは、想像すらしなかった。

天から軍馬が降って湧いたような義経軍の攻撃に、平家の軍勢はひとたまりもなかった。

戦は壮絶を極め、平家軍は敗北した。総大将・忠度はじめ平通盛、経俊、少年敦盛、知章ら、多くの武将が次々に戦死。彼らの最後はどれもがドラマチックに彩られている。次回で述べる。他は屋島に逃れた。安徳天皇一行もいち早く姿を消した。

義経は三種の神器は奪うことは出来なかったが、この奇襲戦法の勝利で、戦術家、智謀の将として、全国に広まった。

図は明治に描かれたもの。鷲尾三郎に先導された義経は山上から見下ろし、余りにも急な坂にたじろいでいる。眼下の平家陣からは火の手が上がり、激しい戦況のほどが知られる。今まさに、一の谷逆落としが敢行されようとしている。武者絵の国芳の弟子・芳藤が活写した。

武者絵には、必ずといっていいほどにヒーローが登場する。この絵もやはりヒーローは義経。勸善懲悪を武者絵に組み込み、この冒険ドラマに江戸庶民たちは大喝采したのだった。



■中右環（なかうゑ）
抽象画家。浮世絵・夢二エッセイスト。一九三四年生まれ、神戸市在住。行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵内山賞、半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。著書多数。

海船港

エーゲ海・

黒海沿岸クルーズ①

文・写真 上川庄二郎



■かみかわ しょうじろう
1935年生まれ。神戸大学卒。
神戸市に入り、空港対策室長、
消防局長を経て定年退職。
現在、大阪産業大学非常勤講師。



地中海に面したブルガリアの小さな町・ネセバル。ここは、大型船が着岸できないため、船は沖合い停泊になる。岸边では、可憐な花が咲き揃い、私たちを出迎えてくれた。

「クルーズのメッカ」

世界でクルーズのメッカと云えば、先ずはカリブ海が挙げられよう。次いで地中海、エーゲ海・黒海、アラスカ沿岸、ノルウェー海、バルト海、南太平洋、それに、パナマ運河など枚挙に暇がない。一方、ヨーロッパやロシアでは、昔から発達していた水運のルート（川とこれをつなぐ運河）が観光化され、リバークルーズとして人気が高い。最近では、南極や北極海といった未知の世界にも関心が高まっている。

そんな中でもクルーズ人口がひと際多いのがアメリカで、二〇〇五年現在では、年間一千万人にも上るといふ。英独仏といったヨーロッパ諸国でも各々百万人。これに対して日本のそれは、二十万人と桁外れに少ない。

二十一世紀は観光の世紀とも云われ、中でもクルーズこそが究極の観光産業といわれる中、日本でも二〇〇六年春から現在の《飛鳥》に代わって、一回り大型の《飛鳥Ⅱ》がお目見えする。客船バースを中突堤に移設する神戸港にも近々にお披露目があるはず。この機会に、神戸港をクルーズ船のメッカにしたいものである。

「エーゲ海・黒海沿岸諸国をクルーズで巡る」

こんな中で、早くから行ってみたいと思っていたのが、エーゲ海・黒海だった。「エーゲ海に行ってみました。よかったですよ」などと云われると、もう堪らない。そんなことで、やっと機会を捉えて「エーゲ海・黒海沿岸の国々を巡るクルーズ」に出掛けてきた。

エーゲ海・黒海沿岸の地域は、有史以来、常にきな臭い時代が連続した地域であり、キリス

ト文化とイスラム文化の交錯する地域でもあった。中でも東洋・西洋の文明の接点と云われる地域であることに大きな興味があったのも事実。

【さすが！ アテネ・ピレウス港】

私たちの乗船する船は、アテネからエーゲ海を航し、イスタンブール、ボスポラス海峡を経て黒海に入り、ブルガリア、ルーマニア、ウクライナ、と黒海沿岸諸国を巡り、再びボスポラス海峡を通過してトルコ、ギリシャと十一日間かけて航海し案内してくれる（下の地図参照）。

そのアテネのピレウス港に着いて先ず驚いたことは、いやー、いるは、いるは、大型の観光船が埠頭という埠頭にひしめいているではないか。四隻、いや五隻？ あちらにもその向こうにもいる。都合七隻だ。エーゲ海・黒海、地中海を周遊するクルーズ船は、ここアテネを起点に周航しているようだ。

見たところ、完全な客船専用港。どうすれば、神戸港もこんな港に出来るのかなあ、なるのかなあ、と半ばため息ばかり出てしまう。

十五時出航。早速荷物を整理し、避難訓練に



エーゲ海の夜明け



ダーダネルス海峡を守る要塞



ダーダネルス海峡を航くトルコ艦隊



クルーズ船のエーゲ海・黒海航海ルート図

参加し、と忙しくしているうちにディナータイム。立て続けにスケジュールが詰まっっていて、とにかく乗船初日は忙しい。

【アテネからイスタンブールへ】

一夜明けて、エーゲ海のご来迎。拝むように見つめることしばし。

リドデッキでフリースタイルのバイキングで朝食を摂る。まさに船旅の至福のひと時、ゴージャスな気分浸る。

やがて、船はダーダネルス海峡に差し掛かる。両サイドの風景はさほど見栄えもしないが、やがて両岸に要塞跡の構築物が見えてくる。その昔、オスマントルコの威信にかけてもこの海峡を守る必要があったのだろう。現在も、この海峡の護りは、トルコ海軍の使命のようだ。三隻のトルコの軍艦が航行してゆく。私たちの船はゆうゆうと追い抜いてイスタンブールへと先を急ぐ。

それでは、次回。

有馬歳時記

有馬の「新名物」をあなたの手で！

第3回「有馬」ならではの「創作料理・物産コンテスト」

有馬温泉ならではのもの、有馬近辺で作られるもの、収穫されるものなど、有馬温泉にちなんだものを生かした料理やお菓子、工芸品などのお土産品を募集するコンテストが、今年も開催される。過去2回のコンテストで受賞した作品は、お土産として商品化されたものがあつたり、料理が自慢の旅館が軒を連ねる有馬温泉らしく、各旅館の料理人たちの熱いバトルが繰り広げられているという（これはあくまでもウワサ）、何かと話題のコンテスト。有馬以外のあなたにもぜひ参戦してほしい。

■募集部門

- ① 創作料理部門
- ② 創作土産・食品部門
- ③ 創作土産・工芸品部門

※コンテスト応募の作品づくりの目的で「金泉」「銀泉」のお湯が必要な場合は有馬温泉観光協会まで申し出る。他の材料は各自で調達する。

■賞

大関賞(10万円)ねね賞(5万円)
ゆけむり賞(3万円)特別賞(副賞)

■応募方法

第一次審査は写真審査(土産部門の食品は後日送付または持込み)
※応募用紙を、左記の宛先(有馬温泉観光協会)から送ってもらい、住所・氏名・製作過程・作品の特徴などを記入し、応募。

■応募・問合せ先

〒651-1401
神戸市北区有馬町790-3
有馬温泉観光協会コンテスト係
☎078-904-3450
または
☎078-904-0708

■締め切り

2月5日(日)必着



有馬一望・歴史の名湯

HYOE

兵衛

向陽閣

TEL (078) 904-0501(代)
URL <http://www.hyoe.co.jp>



有馬温泉 月光園

GEKKOEN

鴻臈館

KOROKAN

TEL (078) 903-2255

姉妹旅館 游月の荘
TEL (078) 904-0366

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり味に集う
ARIMA

SUNNY SIDE UP
TENNIS CLUB
TEL (078) 903-1024



有馬 攝津
御所坊

TEL (078) 904-0551

静寂さにつつまれた
くつろぎの宿

国際観光旅館

有馬 国際観光旅館
陵楓閣

TEL (078) 904-0675

昨年のコンテストで太閤賞
永岡眼心さんの作品
「太閤の花山椒餅」

第2回コンテストの創作土産・食品部門で太閤賞を受賞した永岡眼心さん（念仏寺住職）に作品づくりのポイントをきいてみた。永岡さんの作品は「太閤の花山椒餅」。この作品を考えたきっかけは、「丁稚羊羹があるのにナゼ旦那のお菓子が無いのか!」と思っただからで、旦那羊羹ならぬ「太閤餅」を考えついた。以前から、六甲山中で採れる山椒を好んできた永岡さんは、餅に山椒を入れると決め、家庭用餅つき機を買った。そして完



からか餅（足軽）から出世して花山椒餅（太閤）になるにつれ花が満開になる包装紙が楽しい。書かれた言葉にも注目



愛犬とともに有馬の四季を楽しむ永岡眼心住職

成した「太閤の花山椒餅」は、山椒の木の皮、実、花を餅にまぜて搗いたもので、味はピリツと辛くてけつこういける。更にパッケージにも凝り、山椒の木の皮が入った辛皮餅、実が入った実山椒餅、花が入った花山椒餅、それぞれ「足軽」「大名」「太閤」と名づけ、有馬を愛した豊臣秀吉の出世になぞらえた。包装紙も、出世するにつれ木に花が咲いてゆくデザインに。「品物には、こういうストーリーづくりも大切」と永岡さんが言うように、ちよつとストーリーをつけるだけ、非常に縁起のよいおみやげ品が生まれるのだ。

有馬の湯に浸かって、考えてみよう!

有馬での会食・宴会は懐石料理・ステーキが楽しめるいろり亭「華蓮」で!!
(昼5000円～、夜8000円～)
有馬温泉 政府登録国際観光旅館
銀水荘別館

ちやうらく
北楽

TEL (078) 904-3656(代)

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

日本の伝統
数寄屋造りの館

欽山

TEL (078) 904-0701

チェックイン13:00、アウト12:00
ゆっくりとお過ごしいただけます。

雅ただようくつろぎの館

中の坊珠苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーからご家族づれまで
有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181



でん太の 教えてドクター



その②⑤ 入れ歯がだんだん大きくなる!

お話 / 足立優歯科診療所 足立 優 院長

D r. あけましておめでとう、でん太。ところで森のお正月は、賑やかならなかってね。

でん太 うん、前回ドクターに入れ歯の相談をした長老を中心に、三日三晩騒ぐんだけど…ここだけの話、お年寄りの元気がなくて、今年はある盛り盛り上らなかつた…。

D r. それは残念だったね。どうかしたの？

でん太 みんな入れ歯の調子が悪いらしいんだ。

D r. どんな具合だった？

でん太 ひいおじいちゃんと言うには、最初、入れ歯は2本だったのに、次の年には4本になって、次の年には下の歯全部が入れ歯になってしまつて…という具合に、どんどん入れ歯が大きくなつてしまふんだって。ドクター、これってどういうこと？

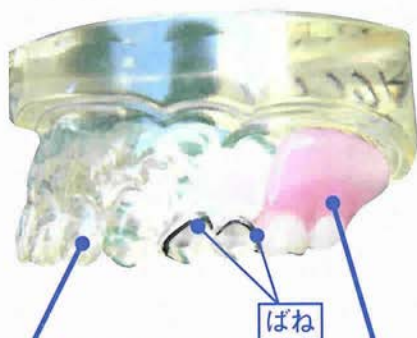
D r. 入れ歯の歯の数に対し、入れ歯の止め具がかかる歯の数が少ないと、これらの支えの歯には大きな負担がかかるんだ。たとえば4本歯が無いとしよう。この入れ歯を1本の歯で支えようとこの支えの

歯は1本で5本分の歯の仕事をすることになる。これだと支えの歯がもたなくなつてしまい、使えなくなつてしまふというわけさ。だけど、止め具がかかる支えの歯を2本にしたとすると、支えの歯1本あたりの負担は3本分にまで減少するんだよ。これが、支えになる歯を守る方法なんだ。

でん太 入れ歯を支えるためには、想像以上に大きな支えが必要なんだね。

D r. そうだよ。入れ歯を大きくしないためには、最初から支えになる歯をつないで補強するとか、止め具のかかる支えの歯を増やしてたくさん歯で支えるようにするのがいいのさ。入れ歯の人はばねの数の少ないシンプルな作りの入れ歯を好むけど、しっかりと咬めて支えの歯を守り、歯を失つて入れ歯を大きくしないようにするには、支えをしつかりとさせる事が大切なんだ。そうすれば自分の歯も長く保つ事が出来るんだ。

ばね式の止め具の入れ歯



止め具のばねの数をふやして補強している入れ歯

歯のない入れ歯部分

アタッチメントの入れ歯



歯のない入れ歯部分

止め具を見せず、支えの歯をつないで補強している入れ歯

足立 優歯科診療所

神戸市東灘区岡本1・3・33
TEL 078・411・0024 FAX 078・411・0056
mail.adachi@kba.att.ne.jp
http://ado.pr-business.net

※これからは患者の権利を守る予防歯科医療が主流となります。情報をお知りになりたい方は、Dr.足立までお問い合わせ下さい。

- 足立 優（あだち まさる）
1960年生まれ。大阪歯科大学卒。1988年米国留学後、神戸市東灘区に足立優歯科診療所開設。行動医学の概念を基盤とした自己決定に基づく予防管理中心型の歯科医療を展開する。また、この概念にもとづく医療システムの普及のために「NPO法人・明日の歯科医療を創る会 POS」を設立し、社会に対して歯科医療情報の公開と、よりよい歯科医療を求める患者の支援を行なっている。
- 明日の歯科医療を創る会
ホームページ
http://www.asunoshika.com
☎078-435-4618

ぴっといん

— 魚菜 きし —

こんなあたたかい
純和食を
さがしておりました



一人でも気軽に飲めるお店を探している人におすすめの「きし」。女性一人でも入りやすい雰囲気、料金もお手頃、お料理も少量ずつなので、少人数でもいろいろな料理が楽しめるのも魅力だ。

和洋の味わいが絶妙な熱々の
「牡蠣のかぶら小鍋クリームチーズ風味」

写真の小鍋料理は、岸さんの創作「牡蠣のかぶら小鍋クリームチーズ風味」。ぷりぷりの牡蠣と、大根、きのこがた

るのも魅力だ。昨年10月にオープンした「きし」のご主人・岸英明さんは、大阪の割烹料理店で17年間修行し、念願のお店を出した。新鮮な魚と、野菜を中心にしたあつさりした純和食が中心。大阪で、数多くの食通たちの相手をしてきた料理の腕前は、素材を吟味し、基本をしつかりとおさえ、時に洋のテイストを加えた創作料理に岸さんのセンスが光る。冬におすすめめは、大根のふろふき、牡蠣、白子、メバル、寒平目…。おまかせ（3品3500円）もお願いできる。



ご主人・岸英明さん

つぶり入って、コクがありながら案外あつさりしたかぶらとクリームチーズの相性は絶妙。お酒にびつたりです。

「やはり、和食のかつおや昆布のだしに合うのは、何といつても日本酒です」と話す岸さんおすすめのお酒は、埼玉の「神亀」。燗・冷ともに旨い。焼酎も、お酒好きな岸さんが厳選した銘柄が並ぶ。日本酒、焼酎、ビール、お茶すべてに合うという珍味「クリームチーズ味噌漬」もぜひ味わってみてほしい。

山手幹線沿い、NHK神戸放送局から西へ20メートルほど。



■きし

神戸市中央区中山手通3丁目10-11
☎078・222・7255
17時〜0時 水曜休

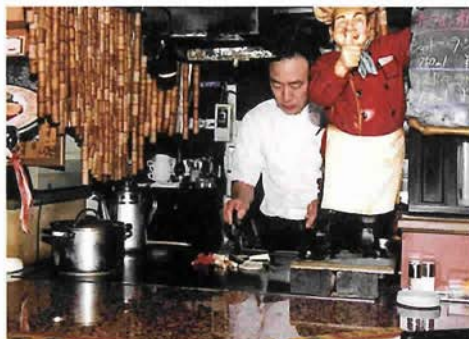
六甲味散歩

Rokko Sampo

第6回 西洋料理 浪漫亭



鈴木正幸
Masayuki Suzuki



鉄板にむかう丸山和宏シェフ



名物・あわびステーキ(写真上)、テールシチュー(写真下)



山手幹線沿いにあるアパートホーム
な「浪漫亭」。玄関にもコルクが
つしり貼りつけられている



浪漫亭

神戸市灘区永手町1丁目4-14
11:30~14:30/17:00~21:30
水曜休
☎ 078-854-4118

オーナー・シェフの丸山和宏さんは、今は亡き料理の聖人・宮本三朗之助の直弟子である。師から学んだものはと大きくと、返ってきた答えは「愛情」の一言のみ。素材へのこだわり、精魂こめて作りあげた作品への愛着、調理過程もその対象であろう。何よりも賞味に酔いしれたる客人への愛情。愛情と感謝とは表裏一体のものだろう。

この精神を受け継いで、店をオープンして17年がたつ。親のすすめを退け、あえて高卒でこの道を自ら選んだ。宝塚ホテルで10年の修行。美人パートナーを射止め、27歳で独立。六甲の街が気に入ってここを選んだという。テーブル2つにカウンター席。17人18人が限界。壁一面に、ワインのコルクが見事に嵌め込ま

れている。

フランス料理全般であるが、シェフの本領は魚介類において際立つ。先日、同士に呼びかけ店を貸し切りにして、存分に腕をふるってもらった。どの一品もそのソースのこだわりが皆が感嘆した。すぐに予約がいくつも入ったという。川西に、5年先でないと言約がとれない店があるという。私は3年先の8月27日に知人が予約してくれている。客が来るか来ないか分からないのに新鮮なネタを常時仕込むのは大変だ。浪漫亭も予約客が多くなっているようだ。十分にその資格はある。丸山シェフの一度料理を味わっていただきたい。

JR六甲道駅山側・東へ山手幹線沿い・徒歩6〜7分。

東欧・ルーマニア北東の寒村。地図にない、駅もない、人口たった400人の村に、世界最速のジブシープラスバンドがいた！彼らはやがて世界中を席卷し、日本にもやってくる…。ポエティックな映像詩、ほのほのとした人間味溢れるスケッチ、そして熱狂のライブシーン。この嘘のような本当の話は、ジブシープラスバンド「ファンファーレ・チョコリア」を描いた音楽ドキュメンタリー。音楽への圧倒的な情熱、自由で誇り高いジブシーたちのエネルギーを感じてほしい。



市民映画劇場1月例会
**「炎のジブシー・プラス
 地図にない村から」**

神戸市産業振興センター
 (ハーバーランド・プロメナ神戸東隣り)
 1/20(金)21(土)1日4回公演
 前売1,300円
 (当日一般1,500円 障害者・シニア1,100円
 中高生1,300円)
 ■神戸映画サークル協議会
 ☎078-331-8538

ヴェルサイユ宮殿美術館が、日本のために企画した大規模な展覧会が、ついに開幕した。

絵画、彫刻をはじめナポレオンが愛した家具や工芸品、皇妃ジョゼフィーヌやマリ＝ルイーーズゆかりの宝飾品など、日本初公開作品を含む150点を展示する。フランス革命から、ナポレオンが皇帝として活躍し、退位を余儀なくされる歴史を軸に、激動の時代に開花した新しい美のスタイルを展覧。2/11(土)には、あの池田理代子氏の講演会も。



ダヴィッド「サン＝ヘルナール山からアルプスを越えるボナパルト」
 © Jean-Marc Manal, Château de Versailles

皇帝戴冠200年記念
**ヴェルサイユ宮殿美術館所蔵
 ナポレオンとヴェルサイユ展**

神戸市立博物館
 (三宮駅南へ10分・旧居留地)
 開催中～3/19(日)
 9:30～17:00(金土曜は～19:00)
 一般1,300円(1,100円) 高生950円(800円)
 小中学生500円(400円) ※()内は前売料金
 ☎078-391-0035

西宮にオープンした芸術文化センター専属の管弦楽団による第1回定期演奏会。世界各国でオーディションを開き、選ばれた若き音楽家たちで構成されるこの管弦楽団の、大いなる第一歩をその耳で確かめてほしい。指揮はもちろん佐渡裕。曲目は、ベートーヴェン・交響曲第5番「運命」、R.シュトラウス・交響詩「英雄の生涯」。

第2回公演(6月)は、指揮にルーマニアの新星・オロサヌを迎えるなど、今後さまざまなラインナップを見せる定期演奏会に注目。チケットはすぐに完売してしまうので早めに。



兵庫芸術文化センター
管弦楽団 第1回定期演奏会

兵庫芸術文化センター
 (阪急西宮北口駅南へ)
 4/8(土)9(日)両日15:00開演
 ※1/22(日)チケット発売開始
 A席4,000円 B席3,000円 C席2,000円
 D席1,000円
 ■芸術文化センターチケットオフィス
 ☎0798-68-0255

西宮生まれのユニークな芸術家・山田脩二(1939-)は、60年代中頃から、建築写真を手がけるフリーカメラマンとして活躍し、写真集「日本村1969-79」は大きな反響を呼んだ。82年以降は淡路島に移り住み、伝統的な瓦を現代的なセンスで活かす「カワラマン」になるなど新境地を開く。ジャンルをこえて多領域的に活動を続ける山田脩二の世界から、写真・映像・瓦のインスタレーションなどを展示。一人の芸術家の自由奔放な生き様を見る。



（明石海峡大橋と淡路島）1999年

「山田脩二の軌跡-写真、瓦、炭」展

兵庫県立美術館
 (阪神岩屋駅徒歩5分)
 2/4(土)～3/19(日)
 10:00～18:00(金土曜は～20:00)
 月曜休館(1/21～25メンテナンス休館)
 入場料未定
 ■兵庫県立美術館
 ☎078-262-0901

ライブハウススケジュール

ジャズライブ&レストラン SONE

- 1/5 (木) 新井雅代トリオ
 6 (金) 大越理加トリオ
 7 (土) 北荘桂子トリオ
 8 (日) 鍋島直飛クワルテット&宮野英子
 9 (月) ウクレレジャズ&かねだたつこ
 10 (火) 山内尚美トリオ
 11 (水) 溝口恵美子トリオ
 12 (木) 北浪良佳 (Yoshika) トリオ
 13 (金) 北荘桂子トリオ
 14 (土) 升本しのぶトリオ
 15 (日) 井手厚トリオ&ロアナ・シーフラ
 16 (月) 浅香久志トリオ
 17 (火) キャンディー・浅田トリオ
 18 (水) 谷山和恵トリオ
 19 (木) 古谷充クワルテット
 20 (金) ジャネットトリオ
 21 (土) ベティ鞍富トリオ
 22 (日) 原田紀子十水田トリオ
 23 (月) 増田真智子トリオ
 24 (火) 大越理加トリオ
 25 (水) 北荘桂子トリオ
 26 (木) 長谷川元伸クワルテット+新井雅代
 27 (金) 幸島寿美子トリオ
 28 (土) 大越理加トリオ
 29 (日) 木畑晴哉トリオ&狼丸詩摩子
 30 (月) 升本しのぶトリオ
 31 (火) 岩宮美和トリオ



キャンディー浅田

※5日から通常営業

■JAZZ LIVE & RESTAURANT SONE

北野坂 ☎078-221-2055

<http://kobe-sona.com>

★ステージ18:50~23:00 計4回

★ミュージックチャージ900円

クラシックライブハウス ピアジュリアン

- 1/5 (木) 宮崎万里 (ヴァイオリン) 植田浩徳 (p)
 6 (金) 武村美穂子 (フルート) 藤溪優子 (p)
 10 (火) 榎貴志 (バリトン) 藤江圭子 (p)
 11 (水) 三瀬由起子 (ヴァイオリン) 植田浩徳 (p)
 12 (木) 川上布美 (p)
 13 (金) 北野麻里子 (フルート) 鈴木華重子 (p)
 14 (土) 南部靖佳 (フルート) 山本アキ (p)
 15 (日) 高村聡子 (ソプラノ)

- 17 (火) 並河寿美 (ソプラノ) 藤江圭子 (p)
 18 (水) 藤川健 (テノール&チューバ) 植田浩徳 (p)
 19 (木) 増井一友 (ギター)
 20 (金) 河瀬里子&鷲野彰子 (ピアノ連弾)
 21 (土) 喜多真美 (ソプラノ) 西田昭広 (バリトン)
 岡元優子 (p)
 22 (日) 村田隆子 (ヴァイオリン) 佐々木和美 (p)
 25 (水) 藤溪シリーズ/内藤謙一 (コントラバス)
 26 (木) 高橋真珠 (ヴァイオリン) 金子葉子 (p)
 27 (金) 井上隆平 (ヴァイオリン)
 石川浩之 (コントラバス) 鈴木華重子 (p)



ゲストを迎えたトーク&ライブ
 「藤溪優子シリーズ企画」

■クラシックライブハウス PIA Julien

三宮駅北側近藤ビル9階 (1階マクドナルド) 9階

☎078-391-8081 月曜定休

<http://pia-julien.com>

★ステージ19:30/21:00 (計2回)

ジャズクラブ Holly's

- 1/5 (木) 三浦昌彦 (tp)トリオ
 6 (金) 佐川明子 (vo) 他
 7 (土) 畑山紀美代 (vo) 名倉学 (p)
 森本良平 (b) 中島要 (dr)
 12 (木) 林幸 (vo) 他
 13 (金) 雨宮千晶 (vo) 他
 19 (木) 小泉裕子 (p) 他
 20 (金) 佐久間博一 (g) 小川博士 (g)
 21 (土) あべやすこ (vo) 他
 26 (木) セッションナイト (楽譜をご持参ください)
 元木美穂 (vo) 小泉裕子 (p)
 27 (金) 奈良原裕一 (b) 富樫豊 (dr)
 28 (土) コスベル「the Earth Born」

■KOBE JAZZ CLUB Holly's

三宮駅北徒歩7分、新神戸駅南徒歩7分

加納町 ☎078-251-5147

<http://kobe-hollys.com>

ライブハウス チキンジョージ

- 1/2 (月) 「ぼちぼちLIVEinKOBE」KnoT Slip
 KnoT/葛飾柴又/DEWACHEN/ヘルニア
 ダッパンダ(+ロザリア)/
 坂上伊織with西本論史(g)
 4 (水) ST28 ワンマンLIVE



※以降、改装工事のため
 2007年まで休業

■THE LIVE HOUSE CHICKEN GEORGE

生田神社西 ☎078-392-7431

<http://www.chicken-george.co.jp>

ライブハウス メイデンヴォエッジ

- 1/5 (木) 高校生バンド天国
 6 (金) (地元の高校生応援企画)
 7 (土) 神戸アコースティック az/居倉健 他
 8 (日) ロックナイト
 9 (月) 神戸アコースティック
 西岡ゆう子/麻友/pianojac 他
 11 (水) 気軽にjazzセッション
 13 (金) フェュージョンナイト
 15 (日) ロックナイト
 18 (水) 布施明仁とjazz4ギター
 20 (金) 神戸アコースティック
 ザ・ローキックス/MEI 他
 21 (土) ファンク・ソウルナイト
 kiss into the soul/toy box 他
 22 (日) ロックナイト
 25 (水) 気軽にjazzセッション
 27 (金) ロック・ポップスナイト
 28 (土) ロックナイト
 29 (日) jamzlp
 スペシャルライブ!



jamzlp

■Livehouse Maiden voyage

阪急六甲駅北側すぐ

☎078-805-0899

<http://www.koyo.net/maiden-voyage/>

★演奏のジャンル問わず、出演者募集中

1号・2号上屋倉庫に
クリエイター続々集結!

2月、波止場町がおもしろくなる。

神戸港中突堤にある、使われなくなった倉庫(国産)号上屋・二号上屋を改装した「波止場町TENXTEN」が、いよいよ2月にオープンする。

ここには、倉庫の広いスペースを利用し、クリエイターたちの作品発表、販売、交流、創造のステージを創ろうと、参加クリエイターは一般に募集された。結果、20代〜80代、若手作家から中堅、プロまで、個人・グループとさまざまな形が集まった。国籍も、日本、韓国、中国、アメリカ、そしてモンゴルからも。作品は、ユニークな才能あふれる家具、絵画、ジュエリー、染色、モンゴルから馬頭琴など、さまざま。

京都の伝統文化の職人たちが集まったグループによる斬新な作品、空間デザインを手がける若手アーティストが創り出すおしゃれな家具、すべてオリジナル作品ばかり。彼らは自分専用のブースで、それらの作品を展示、販売する。軽食がとれる店舗や作業室なども併設。

「けれど、単なる商業施設ではありません」と、「波

止場町TENXTEN」を運営するNPO法人神戸グランドアンカー理事長・村上和子さんは話す。活気がなくなっていた港に話題を作りたいと、この企画がスタートし、賛同するクリエイターたちが集まってきた。

若きクリエイター、ものづくりの職人たちのパワーが、みなとを今までになくおもしろくする予感がする。

■NPO法人
神戸グランドアンカー
神戸市中央区東町122
日本真珠会館3階
☎078-332-0185
http://www.k-anchor.org



村上和子理事長



改装される倉庫

財テクセミナー
「めざせ、貯蓄の達人!」

預け先、やり方を少し変えただけで、こんなにも貯蓄の差が出るなんて! 投資・運用なんてわからない... といったあなたも、まず知ってください。講師・茂見順子さんのアドバイスで、めざせ、あなたも貯蓄の達人。

「めざせ、貯蓄の達人」パーティー入門編は、2月18日(土)19日(日)に開催。1日目の内容は「まず、知ることから始めよう」預入れ先と預け入れ方で、利息に1000倍以上の差!。2日目は、つぶれない銀行・倒産しない会社の見分け方! 安心して預けるために。持ち物は、ノート、筆記用具、日本経済新聞(土曜版)。お申し込みは、左記連絡先にファクシミリまたはハガキで。郵便番号、住所、電話番号、氏名、参加希望日を明記のこと。2月10日〆切り。

とき 2月18日(土)19日(日)
両日とも14時〜17時(予定)
※2日間で3回シリーズ
会費 一回2000円
(二回のみでもOK)
場所 北野ロースalonカフェシア
(山本通233/12/ハタター板)

■申込先
〒731-0199 広島市安佐南郵便局私書箱15号 JUNハルスクリエイト「財テクセミナー苑」
FAX 082-6330107 08

神戸の本棚

秋田博正 自伝
白雲悠々 風とともに

神戸青年会議所の初代理事長であり、日本セーリング連盟初代会長をつとめるなど、財界・政界・ヨット界の重鎮、秋田博正氏の自叙伝。西日本屈指の海運業を営む家に生まれた秋田氏は、関門海峡を眺めて幼年期を過ごした。終戦後、自ら事業を起し、財界で活躍。東京帝国大学時代のヨット部の経験から、ヨットや海への関わりも深く、兵庫県ヨット連盟創立をはじめ、日本ヨット界で多くの職を歴任。事業家であり、大きな海に抱かれながらシーマンシップあふれるヨットマンの顔を併せ持つ秋田氏の、豊かな人間性あふれる回想録である。



1,500円+税
神戸新聞総合出版センター

芸術で心の復興を 第7回

「1・17 EARTH展」

震災後5年を機に始まり、毎年開催されている「1・17 EARTH展」は今年7回め。1月13日(金)、神戸ファッションマートで。

芸術のもつ癒しの力で心の復興を、という願いで、世界の芸術作品が展示される。主旨に賛同した国内・国外の芸術家の作品や、小磯良平、須田廻太など兵庫県にゆかりのある物故作家らの作品を展示。今回、スマトラ沖大地震をはじめ、近年世界各国で起きた災害に関するVTR放映等が企画されている。

大災害から立ち直った神戸で、豊かな心の復興を発信したい。

とき 1月13日(金)～16日(月)
10時～19時(16日は13時閉場)
場所 神戸ファッションマート9階10ホール
(六甲ライナー「アイランドセンター」駅)

■1・17 EARTH展実行委員会
株式会社世界文藝社

大阪市北区西天満3-14-6

☎0663111400

おしゃれなショップ情報 報満載アートマップ

「Navigator」

カフェ等に置かれているフリーのポストカード広告や、イラストレーターや若手アーティストを支援する人材バンク事業などを手がけている「ドリームアンドモア」から、またアーティストックな企画が発表された。

12月9日からスタートしたアートプロジェクト「TAKKE ART(テイクアート)」は、日本、イギリス、香港などから集まったアーティストがデザインした、オリジナルショップバッグや、名刺サイズのアートカードなどの「お持ち帰りアート」を、神戸市内のショップで配布するというも

の。どれも限定でしたが、あなたは手にすることができましたか？

そして、それらTAKKE ARTに参加したショップは、アートマップ「KOBENavigator」に掲載され、配布されている。このマップは、ポストカードサイズにまとめられたもので、市街地マップの他、洗練された100店のショップ情報や関連イベント情報が掲載されている。おしゃれなイラストが満載で楽しい上、マップやショップ情報はかなり使えて機能的。こちらも数量限定なので、早い者勝ち。

■株式会社ドリームアンドモア
神戸市中央区下山手通2-133
建創ビル5階
☎0783272155
<http://www.dream-more.com>



ポストカードサイズに収まったおしゃれな「KOBENavigator」

情熱と感動の仕事術 永末春美

トアロードホテルの副支配人募集の広告を見て応募し、支配人として迎えられた永末春美さんは、スタッフの意識改革、女性らしい細やかな気配りや、斬新なアイデアを次々と打ち出し、ホテルに活気を戻す。単なるビジネス書ではなく、「勇気の言葉」がたくさんつまっている。

情熱と感動の仕事術

永末春美
著

工場を歩く

網本武雄 絵 / 加藤正文 文
船マツチ、缶コーヒー、湯たんぼなど、兵庫県内の工場を巡り、ものづくりの世界、人々のドラマを見る。都市デザインナー・網本武雄さんによる、緻密ながらどこか温かい絵が魅力だ。神戸新聞で連載されていた「工場を歩く」ものづくり再発見」に加筆修正したもの。





1

年始のあいさつを
なんどもするのは
めんどうなものじゃ
だか今年はこのつかい
頭につけていると
考えただけで
あいさつしてくれるぞ”

やってみよう

あけまして



2

これでよし



3

接着剤で”頭”に
つけてしましましょう

アイデアの
勝負しよ

オウムのおかげで
年始まわりは
楽勝でしたね



ねーちゃん
わしとつきあって
くれないかのう

そんなこと
考えて
歩いてるん
ですか



こみ

これからも……

大谷 成章（フリーライター）

剪画／とみさわかよの

1周年の朝は、前日から「月刊神戸っ子」の編集室に泊り込んで、三宮センター街に置かれる慰霊像の除幕式に加わった。昼前には鷹取に行き、FMわいわいの開局式を取材した。

2周年の日は、新長田駅南地区の焼け跡で、埋蔵文化財調査会社の日雇い作業員で迎えた。そばではテレビ局が、まだガレキが残るまちのようすを中継していた。鼻水をこすりながら土を掘り返していた場所は、いま市街地再開発の超高層ビルが建っている。

3周年は、鷹取の大国公園から新長田南の「丸は市場」を抜け、御蔵菅原を歩いた。無職だった。

4周年は、千種川に近い畑でダイコンを抜いていた。NPOひょうご農業クラブのメンバーとしての作業で、無論、無償のボランティアである。

10周年の日は、「北野工房のまち」の講堂を会場にした「まちの記録者展」の受付に座って

いた。

商業カメラマン米田定蔵・英男父子、レンズ付きフィルムで住んでいたまちを記録している大仁節子さん、録音技術者の射場崇夫さん、ピデオ作家の原山和敏さん、詩人の安水稔和さんたちによる展覧会を手伝っていたからだ。

毎年、1月17日を迎える私の足場が変わっている。落ち着かない身の振り方だ。

関西学院大学社会学部の高坂健次教授は「災害は、自然災害がきっかけであったとしても、その発現過程や帰結、被害の程度、復興過程については社会的変異（＝社会階層差）をとまなうのが常である」と指摘している。

つまり、「一億層中流階級」の幻影が突き崩され、階層差が歴然と現れてくるのだ。

私なんぞは、仕事がちよっと増えるか減るか
の「変異」だが、家を失い、家族を亡くし、失職した人たちは、人生の座標軸を見失っている

かもしれない。

このまちのあちこちに「震災モニユメント」がある。役所が作った慰霊碑もあればまちの人々が建てたお地藏さんもある。焼け残ったクスノキであったり、焼けたただれた電柱であったりもする。

慰霊というのは記憶することである。生きている人と亡くなった人との座標軸を確かめることである。人の記憶は頼りないものだから、場所結びつけることになる。

神戸大学COEの今井信雄研究員は、西神戸センター街の、火災跡をとどめたアーケードについて考察し、「震災の記憶が、ある場所と結びつくとき、その場所は共同性へと向かっていく。記憶の分かち合いへと向かい、亡き人を核とした、ほんとうの意味での共同性を保証す

る」と述べている。

アーケードには、震災前の暮らしと震災後の苦悩が結びついており、亡くなった人の記憶を呼び覚ます力が宿っている。

焼け焦げたアーケードを見上げるとき、それぞれの人がそれぞれの記憶を呼び覚まされ、その記憶を分かち合うことによって共同性が作られていくのだ。

10周年の「まちの記録者展」は、多くの人に見てもらえた。詩人の安水稔和さんは、震災後10年の作品の中から40編を選んでコピーし、ボードに「どうぞ、言葉をお持ち帰りください」とピンで止めた。たちまち品切れになり、3000枚を追加コピーした。

「言葉」は安水さんの言葉であっても、ここからみんなの「言葉」になった。これも「震災モニユメント」だろう。

展示が終わって、安水さんは「これからも」と短く言った。これからも…。



詩画集「神戸、あの日より—1995・故郷」から掲載 「土埃(中央区)」

※関西学院大学COE災害復興制度研究会編「災害復興
阪神・淡路大震災から10年」関西学院大学出版会(2005
年)より

■大谷 成章(おおたにしげあき)1939年但馬生まれ。
元神戸新聞記者。震災当時は月刊神戸つ子編集者。その
後フリーライター。「阪神・淡路大震災10年」共著、岩
波新書など。

福田勇

出石 アカル

絵 菅原 洸人

題字 六車明峰



これまでに書いて来たように、わたしの店には実に色んな人が見えるのだが、今回はまた異色の人である。

善斎健二さん、30歳。趣味はサックス演奏。

うちのお客さんの中では随分若い。しかも身長180センチと長身でカッコイイ。かく言うわたしも実は181センチあるのだが、如何せん体形が違う。顔も違う。彼はハンサムだ。市川染五郎を男っぽくしたような顔だ。

西宮の消防署に勤務していて、音楽隊員でもある。非番の日に顔を見せてくれた時の話。

「震災の時の姿を見て、消防士になりたいなあ、て思たんです。オレンジ色の救助服もカッコよかったし、ロープを上り下りして訓練して

いる様子もカッコよく見えましたからねえ。だけど見るとやるとは大違い。訓練がめっちゃ厳しいんです。体力の限界でやめられないんです。もし救助活動中に、ロープを上っていて、力尽きて落ちて誰も助けてくれませんかからね。限界のまだ先までやらかなあかんです。吐きますよ」

JR福知山線の事故の時も現場に出勤したというのだが、このこと彼は多く語ろうとはしない。まだ生々しいのだ。

話題を変える。

彼、数年前まで、西宮の十日えびすのスターだったのだ。

一月十日の早朝、開門と同時に本殿までの

200メートル余りを疾走する福男競争の常連。

「高校三年の時、初めて出たんです。前の年に友人が出て、三番福になったんですけど、ぼくそいつより足早かったから、一番になれる思たんです。そやけど二番福でした。賞品ですか？お米60キロでした」

彼、負けず嫌いである。次の年も出る。大学一年だったと。そしてまたもや二番。同じ人に負けたのだと。しかも陸上競技を通じてのライバルで、悔しくて仕方なかったと。

「次の年、平成八年にも出ました。あいつに勝たなあかんからです。やっと一番福になりました。この時は、マスコミの取材が大変でした」前年に震災があり、復興が話題になっていたからで、テレビで大きく報じられたのをわたしも覚えている。このころから報道が過熱してゆき、後のトラブルにつながってゆくのだが、彼は引退していて無関係である。念のため。

「大学二年三年と連続で福男になったんですけど、四年の時に四番になってしまったんです。これでやめられると思いました。負けたらやめようと思てたんです。陸上競技もやめましたし、納得の負けでした」

彼、体育大学では有望選手だったのだ。400メートルが得意で、学年別のレースでは関西一位になったこともあるのだと。

ところが、在学中に車が欲しくなってバイトに明け暮れるようになり、それでも練習は休まずで、時には50時間寝ずのこともあったと。

「そんな状態で練習してもマイナスなんですけどね。だからスランプになってしまって、そ

れから記録が伸びなくなりました。その後、そのころの陸上仲間が世界陸上やオリンピックに出てるのをテレビで見ることがあって悔しかったです。車、やめといたらよかったと思いましたが」

さて、次の年、平成十一年である。

「もうやめたと思てたのに、就職した消防署の先輩から、命令ゆうわけやないけど、出る出る言われて出たんです。自信はなかったですけど、まあ救助訓練とかしてたので、パワーがついてたんでしょうね、なんとか二番福になったんです。そやけどこれ微妙な成績でやめるにやめられなくなって、次の年も出たんです。けどまた二番。もう勝つまでやめられんて思いました」

そして次の年、見事三回目の福男に復活したのである。

「学生の時は軽い気持ちやったんですけど、この時はやっと責任果たしたと思いました」

彼、すでに25歳になっていた。そして今30歳。と言ってもまだまだ若いのだが、

「ぼく、もともと神様を信じることもなかったですけど、心の中の願い事とか、みな叶えられるんですよ。今は素直に、オリンピック出場よりもいい御利益もらつてると思ってます。今年から救急救命士の資格取得を目指して勉強するつもりなんですけど、これもきつと叶えてくれると思てます」

■出石アカル(いずし、あかる)一九四三年兵庫県生まれ。「風蓮花」(火曜日)同人。兵庫県現代詩協会会員。詩集「コーヒーカップの耳」(編集工房ノア刊)にて、二〇〇二年度第三十一回フルーメル賞文学部門受賞。

「五線紙の街」 神戸を彩った人たち

文・宮田 達夫 絵・中西 省伍



アラマンこと新井満と田宮三郎は、その後もたびたび会い、酒をのみ諸々を語り合った。あるとき彼は「家のかみさんに会うより田宮さんに会うほうが長い」と笑いながら言った。

彼に関しては、その後カネボウのコマーシャルソング「ワインカラーのときめき」を歌うこととなる。これもたまたま広告代理店の担当者、何百枚かのレコードを聴いていて、彼の声に行き当たったそうだ。竹久夢二の詩に曲をつけるなど、シンガーソングライターとして活躍しているうちに、アラマンは東京に転勤になった。

そして『尋ね人の時間』で第99回芥川賞をもらうことになる。

* * * * *

神戸には、UCC上島コーヒーがある。これはコーヒー会社だが、にしむら珈琲はコーヒーを飲ませる店だ。このマダム西村を取材した時田宮は、こんな話を聞いた。

それは宮水の由来で、何で宮水コーヒーかと？ その昔、マダム西村が美味しい水がないと、日本酒の「大関」の当時の社長に話したら、それなら家の宮水をあげるよといわれ、ただでは申し訳ないと言うと、それでは1リッター1円ということので、今でもそうなんですという話であった。神戸らしい。ちなみに宮水を汲むところは、西宮の大関所有の地に栓があり、そこにタンクを積んだにしむら珈琲の車が毎朝汲みに行き、その水を各店に運んでいるという話だった。

神戸には多士済々の人がたくさん住んでいて、神戸文化に彩りをそえている。

筑前琵琶の第一人者といわれる柴田旭堂さんは、一人娘が宝塚歌劇団の元娘役トップの上原まりさんと、「私はフランスの女王です」と『ベルサイユのバラ』の舞台で大見得を切ったマリ・アントワネットを演じた人だ。上原まりさんは筑前琵琶では柴田旭堂を名乗っていた。その頃、旭堂さんは「主人と早くから別れ、まり

には父親のいない子にしてしまつて、申し訳ないと思つているんですよ。まりがあとを継いでくれるかしら？」と、小柄でちよつとがらがら声で田宮によく話した。「大丈夫ですよ、彼女はそんなこと少しも気にしていませんよ、必ずあとを継ぎますよ」。柴田旭艶さんは今、旭堂さんの心配をよそに一人だちして筑前琵琶の第一人者だ。

神戸異人館といえ、すぐに思い出されるのが画家の小松益喜さんだ。

益喜をもじつてマスクーと本人も言つていたが、この人と会つた瞬間、創造とは年齢に関係ないその人の心の持ち方だと思つた。二十歳の頃から神戸の異人館を書き続け、その頃四百軒もあつた異人館を、油絵とスケッチであわせて八万枚余りも描いたという。小さな体で、スケッチブックとどこでも座つて描けるよう三角形のキャンバスを張つた小さな椅子を持つて、せかせかと異人館界隈を歩き描いた。

小松さんが「神戸の異人館」という画集を出した時、ある人が異人館の記録だと言つと、小松さんは「これを記録と言われるのは心外だ、あくまでも芸術であつて記録目的でない」と持ち前の大きな声で熱っぽく訴えた。

日曜日のある日、神戸北野にある門兆鴻氏の建物の前で、若い女性がキャンバスを広げ絵を描いていた。すると小松さんがつかつかと近づき「道路を描かなきゃだめだよ、そうでないと安定感が悪いじゃないか」と言つと、かの女性小松さんを知らないのであつけにとられた顔

をしていた。

小松さんは「神様が私を小さく生んでくれた分だけ元気を残しておいてくれたので、体は丈夫です。七十歳ともなれば円熟の時期と云われるが、私はまだまだ描きたいことが山ほどあり、今でも画学生ですよ」と田宮に話した。田宮の叔父も、春陽会に属する画家だったが、小松さんと親友だつたことを、この時初めて知り、奇縁だと感じた。

漫画家の高橋猛さんも、神戸文化を形作る役を担つた異色の一人だ。

田辺聖子さんのエッセイの挿絵を描いたり、四国徳島の阿波踊りに田辺聖子連の浴衣のデザインをしたり、三宮の街づくりの提案者になったり、行動範囲は広がつた。ヌーボーとしながら、酒に酔うとグラスに敷いてあるコースターに似顔絵を描いていた。

作家の陳舜臣さんは酒豪だと、その頃一緒に



小松益喜さんの異人館のスケッチ(宮田達夫所蔵)



神戸ポートピア博覧会で、陳舜臣さんと娘の由果さん
(1981年)

飲む機会があった時そう思った。バーボンウイスキーはダブルでストリート、泡盛大好きという方。

阪急六甲

の坂道のビルの下に「道草」という小さな店があった。母娘で切り回して、そこが気楽さを感じさせた。

陳舜臣さんと、娘さんがお嫁に行くという寸前に「道草」で飲んだ。駆け出しのころ、その娘さんをあやしながら原稿を書いた、娘さんも書き損じた原稿用紙を丸めて捨てる音を聞いて育ったというだけに、父親の心境の複雑さを、飲んでいても感じた。突然こう言い出した。

「田宮さん、つぼ入りの老酒をもらったんだけど、娘が嫁に行くまでに飲まないと別れて帰ってくるといういわれがあるんで飲んでくれますか？」

「どこにあるんです？」

「家です」。では、ということですが近くの自宅に、老酒を取りに戻った。ブランドーのビンに詰め替えてあった。田宮はそれを3本持ち帰り、結婚式の日が迫っていたので、毎晩真面目に飲み、悪酔いしてしまった。後日、神戸のバーで飲みながらその話をすると、そうそんなことがあったの？と、照れ屋の陳さんらしい返

事が返ってきた。

神戸ポートピア博覧会で、台湾語ができる陳さんの一人娘の由果さんが協会ホステスになり、会場で制服姿の由果さんと一緒に写真を撮ると、大変喜んだのが印象に残った。

客寄せパンダが成功して、神戸ポートピア博覧会は大黒字で成功したのは後日談で、バーボンクラブもサントリーのパビリオンの中の特別ルームで、サントリーガールのサービス付きで例会を開くというご利益を頂いたのであった。

昭和四年に映画館として開館した神戸松竹座は、新開地のハイカラを象徴する娯楽の殿堂といわれ、大理石がはめ込まれたヨーロッパ風の建物は、ハイカラ好みの神戸っ子の人気を集めた。

昭和三十四年演芸座に転向、かしまし娘、小田栄子の夫婦漫才などがここで育った。昭和三十四年から四十二年が頂点で、オイルショック、不況、神戸高速鉄道開通で人波は新開地通りを素通り、昭和五十一年九月三十日、神戸松竹座はかしまし娘の舞台でさよなら公演となった。

海岸通近くのビルの一階に「明治亭」というレストラン、このウェイターもシェフもおじいさんでサービスの趣があった。味も昔のビーフシチュウの味で、天井が高く羽の大きい扇風機がゆっくりまわっていた。トイレが昔の形で大きく懐かしかった。

名門・オリエンタルホテルの、昔の地下のバーが良かった。タイル張りですくるところこつこつ音

がして、フランスのマルセイユの港町のバーの感じがした。改築後も、バーは長いカウンターの、ウィスキーを注文しても、ここだけはバーテンがシングル、ダブルと聞かずにグラスに注ぐので爽快な気分が味わえた。

そしてこれが神戸という風情を一層強めた。

北野通りを中心に、ハッサム邸跡、トーセン邸、うろこの家、ラインの館、華僑総会、グラシアニ邸、シユエケ邸、門邸、東天閣、関亭廟、回教寺院、中山手カトリック教会、栄光教会、これらは五線紙の音符に違いないものばかりだ。石造りの神戸税関の建物も建築的に有名だが、税関の格も東京に次いでのもの。

この頃、田宮は毎日放送神戸支局担当で、民間放送局の仲間と話し合い、新聞が仕切っていた神戸市役所と兵庫県警本部に民放記者クラブを創設した。記者クラブを作った頃は、足で稼いで取材もしないテレビの人間がと、えらく非人間的な扱いをされていたが、作ってしまうばこちらのものです、新聞社からおし頂いていた情報はあつという間に入手できるようになった。朝日放送の大木本美通も神戸在住カメラマンでいたが、これには大喜びだった。

記者クラブができたお陰で、神戸税関にも取材で訪れる機会が増えた。中に入ると一階から三階まで吹き抜けになっており、いかにも神戸というハイカラさを感じさせてくれた。年間四百隻以上の船が入港するミナトの要という風貌は十分だった。

話は変わるが、神戸にはユニオンランドリー

という会社があり、これは当時、港に入る船のランドリー、つまり洗濯の権利を一手に持っていた会社で、今考えても物凄いものであった。

北野の坂を上った山の上に、北野クラブというナイトクラブがある。神戸の夜景が一望でき、ダンスもでき、食事もという、これまた神戸の醍醐味を感じさせる所であった。もちろんメトロポリタン神戸というのにふさわしく、皆に親しまれていた。

メリケン波止場は、かつて日活映画の石原裕次郎主演「赤い波止場」の舞台となった。波止場に入る両側に、税関の詰め所があり、出るときにはパスポートをと言われチェックされるのも神戸ならではのことで、街の中に外国人が沢山いた。

いつも外国が直ぐそこで交差している感じがした。手を伸ばしたらそこは外国だと。総ての埠頭に税関の詰め所があり、時には三宮のバーで飲んでいて親しくなった外国船の船長と船まで行き、船長室で酒をくみかわして帰る途中で、税関の職員に何も持ってませんかと聞かれ、お腹の中ですとジョークが言えたのも、メトロポリタン神戸のよき時代だ。



■宮田達夫（みやた たつお）
一九三六年東京生まれ。毎日放送入社、大阪府警・大阪市・万国博などの記者クラブ担当。MBSナウ担当後、報道局兼事務局長の三足のわらじで、放送記者として宝塚歌舞伎を取材。イベントプロデューサーとしても活躍。元事業局長。バーボンクラブ会員。フリージャーナリスト。